

自立航法を使う

自立航法について

GPS衛星からの信号を受信して現在地を測定する方法(GPS航法)では、受信しにくい場所(☞32ページ)にいる場合、現在地を表示しなかったり、実際にいる場所と異なった位置に表示することがあります。別売の自立航法ユニット(KX-GNG05)を接続すると、GPS衛星が受信不能な状況でも、本ユニット内のセンサーが方位や距離を検出し、現在地を画面に表示できます。

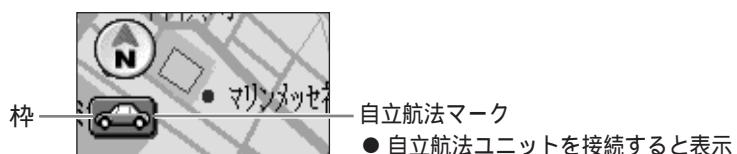
- 取り付けかたについては、自立航法ユニットの説明書を参照ください。

自立航法の種類

車速パルス信号を利用した精度の高いハイブリッド航法と、簡単に取り付けて自立航法ユニット内の加速度センサーを利用する簡易ハイブリッド航法があります。

- ハイブリッド航法を使うには、車から車速パルス信号を取り出すための配線が必要です。車速パルス信号の取り出入口の情報については、カーディーラーにお問い合わせください。また、速度の計算方法を【車速】に設定してください。(☞114ページ)
- 簡易ハイブリッド航法を使用するときは、速度の計算方法を【簡単】に設定してください。(☞114ページ)

自立航法を使用中の画面の見かた



自立航法マーク	GPS航法	自立航法	状態の説明
	動作中	補正中	<ul style="list-style-type: none"> ● GPS航法だけで動作しています。 ● 自立航法は補正中です。動作するためには、約10秒間安全な場所で一時停止してください。走行中に下記の操作をすると、この状態になります。下記の操作は停車中に行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れる ● テレビ、ビデオ、音楽CD、CD-Gからナビゲーションに切り替える
	—	動作中	<ul style="list-style-type: none"> ● GPS衛星の受信状態が悪いため、自立航法だけで動作しています。 (GPS衛星の受信状態が良くなると、枠内の色が青に変わります。)
	動作中	動作中	<ul style="list-style-type: none"> ● GPS航法、自立航法ともに動作しています。



- 自立航法での案内中は、停車しても現在地マークは進行方向を表示します。